旧千歳館エリア・リノベーション事業

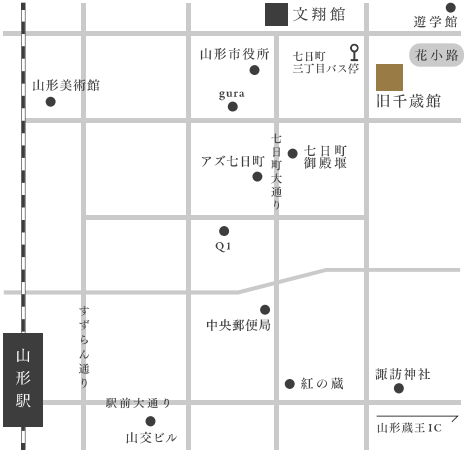
歴史を受け継ぎ、
未来の交流拠点へ



FORMER CHITOSEKAN AREA
RENOVATION PROJECT

YAMAGATA CITY

アクセス



◆山形駅より車で約10分、徒歩で約25分
　山形自動車道「山形蔵王IC」より車で約10分
※お車でお越しの際は近隣の有料駐車場をご利用下さい
◆山交バス「七日町三丁目」より徒歩1分
◆文翔館／御殿堰より徒歩約6分

事業概要

歴史的価値の高い建築物である旧千歳館を保存・活用し、
文化の継承、交流、そして観光の拠点となる施設へと再生します。

事業名	旧千歳館エリア・リノベーション事業
所在地	山形県山形市七日町四丁目9-2
敷地面積	約2393㎡
事業主体	山形市
事業期間	令和4年度～9年度
供用開始	令和9年度予定
施設概要	宿泊／飲食／観光案内　他

問い合わせ

山形市商工観光部旧千歳館整備室

TEL.023-641-1212（内線854）
FAX.023-641-1899
990-8540 山形県山形市旅篭町二丁目3-25

YAMAGATA CITY 山形市

これまでの歩み
History

平成14年　有形文化財に登録

千歳館

明治９年
前身となる「澤渡屋」創業

初代・澤渡吉兵衛が「澤渡屋」を創業。その後「千歳館」へ改称。

明治44年
市北大火発生

大規模な市街地火災により千歳館が焼失。

大正４年
現在地に再建

２代目吉兵衛が千歳館を再建。

戦前
離れの客間を増築

昭和２年に離れ客間「つるの間」、昭和５年に離れ客間「ちとせの間」を増築。

戦後
戦後の千歳館

昭和23年に営業を再開。昭和40年に「レストランちとせ」、ビアガーデン「百花園」を開始。

～平成
「素仁庵」営業開始

平成23年に「レストランちとせ」を改装し「素仁庵」を開始。

令和３年
千歳館 休業・市へ寄贈

令和3年10月から休業、令和４年７月に建物を山形市へ寄贈。

令和5年～
プロジェクト始動

公募型プロポーザルを実施し再生プロジェクトが始まる。

花小路

明治９年
当時千歳館の周辺は寺町・桑畑であった

大正４年
花小路の始まり

千歳館を現在の位置に再建するとともに、花小路のルーツとなる三業地（置屋、待合、料理屋）構想を築く。

戦前
花街の隆盛

昭和初期には100名を超える芸妓が所属し、置屋、待合、料理屋が多く開業。

戦後
戦後の変化

芸妓は15名に減少。各店舗は時代に合わせ、スナック、バー、居酒屋などに変化。戦後の高度経済成長で賑わいを取り戻す。

～平成
花街の変化

宴会スタイルの多様化、オイルショック、県庁移転で賑わいに陰り。

令和３年
芸妓文化継承の動き

「やまがた舞子」として活動を新たに開始し、芸妓文化継承の体制が確立。



地域の記憶を、
次の時代へ。

旧千歳館は山形市の料亭文化・花小路のシンボルとして、
長い歴史のなかで、地域の文化と交流を育んできました。
その記憶を受け継ぎ、
建物と地域文化の価値を未来へつなぐため、
保存と活用に向けたリノベーションを進めています。

ここが、訪れる人にとって、
なつかしく、だけどあたらしい場所に。
そして地域にとって誇れる場所に。
旧千歳館から、花小路の新しい未来がはじまります。











再生後の完成イメージ

Concept Image



※イラストはイメージです。



文化財建築の改修と活用

今回の改修工事では、建築当初の本館の姿を意識した外観再生を目指します。登録有形文化財としての建物の魅力を最大限に活かしながら、観光案内所・飲食店・ホテルなど、さまざまな機能を備えた新たな施設へと生まれ変わります。また、花小路のもつ伝統文化の継承の場としても活用します。



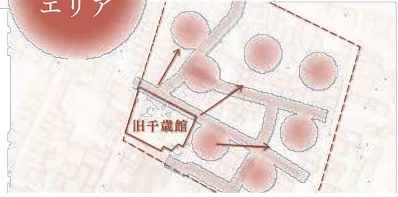
庭園の活用

旧千歳館の庭は誰もが気軽に訪れ、楽しめる都市公園として整備します。既存の樹木や枯山水の池など庭の面影をできる限り残しながら、四季折々の景観を楽しめる庭として再整備します。その他イベント広場や芝生広場も整備し、日常的に人が集い憩える場として活用します。



2つの特徴的なホテル客室

洋間は、かつての面影を受け継ぐ客室です。千歳山の緑をイメージした深緑のカーペットや、どこか懐かしいホーローの浴槽が特徴です。
離れは、母屋から独立したプライベート感のある客室です。ゆとりある畳の空間から庭園が見え、庭の中に泊まるような静かな時間が楽しめます。



花小路への展開

旧千歳館を起点に、そのにぎわいを花小路全体へ広げていきます。空き家や空き店舗を活用し、新たな店舗や滞在の場を生み出すことで、エリア全体へと面的に広がるまちづくりを進めます。一方、花街として栄えてきた花小路の歴史や文化を大切にしながら、まちなみや景観の魅力も育んでいきます。夜だけでなく、昼も歩いて楽しめる花小路へ。旧千歳館から新しいまちの未来をつくっていきます。

※展開はイメージです。